

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(カシヨ株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			就業規則において、国籍、信条、社会的身分を理由として労働条件について差別的取扱いを受けることはないことを明記している 長野市企業人権教育推進協議会に加盟している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			就業規則において、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント等の各種ハラスメントによる人権侵害を禁止している。また、ハラスメント防止に関する指針を社内公表しており、相談窓口を設置している。年2回管理職対象で講習会を実施している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			「タイムカード」「残業申請書」「残業依頼書」などを活用し、所属長が月次で残業時間を記録・管理している また、労働組合と残業時間の協定を結び、随時経営層とのコミュニケーションを図っている								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			就業規則において、国籍、信条、社会的身分を理由として労働条件について差別的取扱いを受けることはないことを明記している(上記1と同じ)				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			各部署から選出された社員による「安全衛生委員会」を月次で開催し、問題の抽出と予防および改善につなげている。また、安全運転管理者を設置しており、安全運転、車両整備、走行状況など月次で記録管理している			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・全社員を対象とした「メンタルチェック」を年次で実施し、問題がある場合は、産業医による診断を行っている			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・女性管理職や定年後延長雇用等で多様な人材が就労している。 ・育児・介護休業等規程があり就労機会確保に努めている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・同業の全国組織EPC-JAPANに加盟しており、各部門ごとに研修および情報共有を図っている ・印刷技能士、印刷営業士、各種エキスパート資格取得費用を補助し、取得者には資格手当を支給している				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・定期健康診断に加え、インフルエンザ予防接種(会社負担)を実施している ・定期的に産業医の職場巡視を実施している			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の種類・量など現状を把握し、台帳を整備している ・廃棄物は廃棄物庫にて施設管理している										11.6 12.4		14.1					

12	環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・電気・ガス・ガソリンの使用量の現状把握をしている						7.3					13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】		・【予定】算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定していく						7.2 7.3				12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用している物質のSDSを取り寄せて確認している			3.9		6.3				11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・工場の資源利用の削減、再利用を推進している(レンタルウエスの使用など)												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・自社の水源を含む水利状況を把握している ・【予定】使用量削減等の計画を策定していく						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・長年ISO14001およびエコアクション21を取得してきた実績から現在自社の環境マネジメントシステムで運用している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・HP等で環境情報を公開し、自社の環境情報開示を検討している												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・工場やオフィスへの太陽光パネルの設置と利用を検討している							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・森林資源の保護を目的とした「FSC®COC認証」を取得し、顧客への提案も含めた利用推進を行っている ・用紙調達に留まらず、広範囲での天然資源調達を目指す												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則において禁止項目として社員に周知している																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則において禁止項目として社員に周知している																16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・業務上デザイン、制作物、写真画像等を扱っており定期的勉強会を実施 ・必要部署の担当者はビジネス著作権検定を取得している ・自社媒体「ながの情報」のネーミングを商標登録して管理している								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・「個人情報保護方針」を制定し、内外に公表するとともに、個人情報保護マニュアルに基づき運用している ・プライバシーマークを取得している																16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・自社製品の原材料に紛争鉱物は不使用である																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っている				5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	・発注システムの見直しに伴い「振興基準」順守の取引慣行が根付いてきており、令和7年度(R07.07～R08.06)中にパートナーシップ構築宣言を実行する			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している ・製品安全確保の観点を踏まえ、PL法対応の取扱説明書を製作している(PL保険に加入している)			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・長年ISO9001を運用してきた経験から自社独自の品質マネジメントシステムを構築している ・「品質方針」を制定し、品質マネジメントシステムを構築。 品質マニュアルに基づき運用している									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・FSC認証紙、NON-VOCインキ等の材料使用や、PP加工からニス加工へのシフトを提案した製品開発・販売に取り組んでいる						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・海洋プラスチック問題解決のため、プラスチック代替え製品の開発・販売に取り組んでいる ・陸の豊かさを守るため、竹紙(バンブーパーパー)、間伐材用紙の普及に取り組んでいる ・貧困と飢餓を無くすすべての人の健康のため、寄付金付きペーパーの販売に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地域の中学生に自社工場での職場体験の受け入れを行っている ・「ながの情報」の発行、「カシヨニュース」の発行、「長野市民教養講座」の開催など地域に貢献する取り組みをしている				4					9			11	12		14	15	17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・月1回の自社周辺ゴミ拾いボランティアを実施している ・地域のプロサッカーチームのスポンサーを通して地域発展に取り組んでいる ・NPO法人「まっつこ ひろば」に対して寄付を行っている				4								11			14	15	17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			・地域の食の事業者と地域外のパイヤーとのマッチング事業を通じて地産外商に取り組んでいる								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営理念を明文化している ・経営者が理念を毎月全社員に向けたミーティングにて説明し、共有している								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・掲示板等で法令順守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している ・セクハラ・パワハラ防止の研修を実施している																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・責任者(担当役員)、CSR室長を任命している																16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・得意先、銀行、株主、OBなど対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・ブライハシマーク運用の中で、リスクの洗い出し、評価を行った上で、適切な対策を講じている																16	
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・環境に配慮した製品提案・販売に取り組んでいる																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	・【予定】事業継続計画(BCP)の策定を検討している ・同業の全国ネットワーク組織EPC-JAPANで、ネットワーク内の事業継続マニュアルを制定している									9		11		13 13.1			16	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
SDGsに関連する製品製造および商品開発を推進する																			

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定